



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社 昭和真空
 コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0392

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	8,938	50.8	1,479	131.5	1,504	156.7	1,197	162.8
29年3月期第3四半期	5,927	19.6	639	38.2	586	41.5	455	52.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,252百万円 (250.0%) 29年3月期第3四半期 357百万円 (63.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	194.47	
29年3月期第3四半期	74.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	13,249	8,298	62.6	1,347.44
29年3月期	11,787	7,292	61.9	1,184.14

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,298百万円 29年3月期 7,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成30年2月9日)公表いたしました「平成30年3月期の期末配当予想の修正(増配)及び創立60周年記念配当に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,023	39.1	1,862	98.4	1,869	107.9	1,429	101.3	232.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	6,499,000 株	29年3月期	6,499,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	340,327 株	29年3月期	340,287 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	6,158,677 株	29年3月期3Q	6,158,713 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足説明	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年12月31日)における世界経済は、総じて緩やかに回復しました。米国では景気の着実な回復が続き、欧州でも消費が増加、機械設備投資が緩やかに増加し、中国では各種政策効果もあり景気持ち直しの動きが続きました。国内経済は、企業収益の改善等を背景に緩やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、スマートフォン・車載関連を中心に電子部品需要が堅調に推移しました。電子デバイスメーカー各社の設備投資意欲も継続し、また、次世代製品開発についても引き続き積極的な取り組み姿勢が見られました。

こうした環境の中、当社グループでは好調な市場を捉え、既存分野への深掘りによる拡販を推進するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に注力しました。また、次世代製品に向けた電子デバイスメーカーからの依頼実験や製品開発にも継続性を持って取り組むことで事業の拡大を図ってまいりました。

生産面では、前期の受注残及び堅調な受注を背景に生産量が安定するとともに、稼働率は良好に推移しました。また、メンテナンス性改善や社内検査の強化など、さらなる品質向上に取り組みました。

損益面では、安定した稼働率とグループ一丸となって取り組んでいるコストダウンの推進等により利益率の改善に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は82億56百万円(前年同四半期比17.1%増)、売上高は89億38百万円(同50.8%増)となりました。

損益につきましては、経常利益15億4百万円(前年同四半期比156.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億97百万円(同162.8%増)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、受注は主にスマートフォンや自動車等に搭載される電子部品、光学部品向けの製造装置が好調に推移しました。

受注高は68億6百万円(前年同四半期比17.5%増)、売上高は74億88百万円(同60.4%増)、セグメント利益は18億98百万円(同86.8%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、周波数調整工程向けの装置を中心に受注が堅調に推移しました。

水晶デバイス装置の受注高は26億68百万円(前年同四半期比23.8%増)、売上高は24億81百万円(同57.7%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、反射防止膜成膜装置を中心に、期初受注残を着実に納品し売上計上しました。また、受注は増反射膜成膜装置の受注獲得などもあり堅調に推移しました。

光学装置の受注高は23億7百万円(前年同四半期比18.2%増)、売上高は33億90百万円(同225.2%増)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、自動車のリフレクター向け装置の受注など、既存技術応用分野及び新規市場の開拓に地道に取り組んできた成果が徐々に出てきました。

電子部品装置・その他装置の受注高は18億29百万円(前年同四半期比8.7%増)、売上高は16億17百万円(同21.2%減)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、当社装置ユーザーに対する定期的な稼働状況確認など積極的に働きかけることで、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めました。

サービス事業の売上高は14億50百万円（前年同四半期比15.3%増）、セグメント利益は3億45百万円（同20.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は99億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億84百万円増加しました。これは主に現金及び預金が11億68百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が18億33百万円、仕掛品が3億91百万円、繰延税金資産が81百万円増加したことによるものです。固定資産は33億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加しました。これは主に建設仮勘定が1億65百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は132億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億61百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は38億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億25百万円増加しました。これは主に未払法人税等が2億34百万円、前受金が1億77百万円増加したことによるものです。固定負債は11億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が20百万円、退職給付に係る負債が18百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は49億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億56百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は82億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5百万円増加しました。これは主に利益剰余金が9億51百万円増加したことによるものです。

負債の増加以上に純資産が増加した結果、自己資本比率は62.6%（前連結会計年度末は61.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、今後の景気動向等不透明ではありますが、当第3四半期連結結果計期間の業績進捗等を踏まえ見通しを勘案した結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

受注が引き続き堅調に推移していることで、当期に売上計上が見込まれる案件が増加しました。また、生産面では生産量が安定し、工場の稼働率が良好に推移していること、全社一丸となって取り組んでいるコストダウンによる原価低減効果などもあり、利益は前回発表を上回り増益となる見込みとなりました。

この結果、売上高は前回予想比3億93百万円増の120億23百万円、営業利益は同3億86百万円増の18億62百万円、経常利益は同3億99百万円増の18億69百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同3億2百万円増の14億29百万円となる見込みであります。

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	11,630	1,476	1,470	1,127	183.06
今回修正予想 (B)	12,023	1,862	1,869	1,429	232.03
増減額 (B-A)	393	386	399	302	—
増減率 (%)	3.4	26.2	27.1	26.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	8,640	938	898	710	115.29

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,679,437	2,510,640
受取手形及び売掛金	2,678,380	4,512,147
商品及び製品	3,697	3,770
仕掛品	1,993,977	2,385,857
原材料及び貯蔵品	140,414	152,857
繰延税金資産	176,115	257,888
その他	41,559	168,196
貸倒引当金	△52,495	△45,636
流動資産合計	8,661,086	9,945,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	617,911	595,590
機械装置及び運搬具(純額)	69,240	50,590
土地	2,066,249	2,066,249
建設仮勘定	-	165,552
その他(純額)	82,039	80,313
有形固定資産合計	2,835,441	2,958,296
無形固定資産		
リース資産	11,377	7,222
ソフトウェア仮勘定	-	10,032
その他	76,312	67,017
無形固定資産合計	87,689	84,271
投資その他の資産		
投資有価証券	192,810	251,949
その他	10,668	9,524
貸倒引当金	△211	△284
投資その他の資産合計	203,267	261,190
固定資産合計	3,126,399	3,303,759
資産合計	11,787,485	13,249,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,312,989	1,320,413
電子記録債務	1,255,771	1,294,124
短期借入金	111,732	111,972
リース債務	21,237	19,119
未払費用	171,914	201,914
未払法人税等	105,874	340,327
前受金	4,611	182,271
賞与引当金	194,758	110,015
役員賞与引当金	70,000	83,250
製品保証引当金	53,000	45,000
工事損失引当金	28,320	7,040
その他	63,170	103,138
流動負債合計	3,393,382	3,818,587
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	50,000	50,000
リース債務	33,563	26,169
繰延税金負債	49,038	69,140
退職給付に係る負債	443,166	461,709
長期未払金	75,571	75,449
固定負債合計	1,101,339	1,132,469
負債合計	4,494,722	4,951,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,753,975	2,753,975
利益剰余金	2,463,577	3,414,934
自己株式	△278,137	△278,181
株主資本合計	7,116,520	8,067,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,815	144,870
為替換算調整勘定	72,327	80,348
退職給付に係る調整累計額	99	5,372
その他の包括利益累計額合計	176,242	230,590
純資産合計	7,292,763	8,298,424
負債純資産合計	11,787,485	13,249,481

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,927,842	8,938,788
売上原価	4,122,111	6,117,316
売上総利益	1,805,731	2,821,471
販売費及び一般管理費	1,166,490	1,341,773
営業利益	639,240	1,479,698
営業外収益		
受取利息	1,230	1,276
受取配当金	1,097	1,696
受取賃貸料	8,784	1,555
保険配当金	16,059	18,135
物品売却益	3,655	15
為替差益	-	5,188
その他	7,753	4,828
営業外収益合計	38,581	32,696
営業外費用		
支払利息	7,046	2,389
売上割引	8,553	2,906
為替差損	58,116	-
賃貸物件関係費	1,622	-
社債発行費	11,974	-
その他	4,318	2,243
営業外費用合計	91,633	7,539
経常利益	586,188	1,504,854
特別利益		
固定資産売却益	-	22
特別利益合計	-	22
特別損失		
固定資産除却損	415	451
特別損失合計	415	451
税金等調整前四半期純利益	585,772	1,504,425
法人税、住民税及び事業税	39,213	386,473
法人税等調整額	90,801	△79,754
法人税等合計	130,015	306,719
四半期純利益	455,757	1,197,705
親会社株主に帰属する四半期純利益	455,757	1,197,705

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	455,757	1,197,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,531	41,054
為替換算調整勘定	△99,277	8,020
退職給付に係る調整額	2,741	5,272
その他の包括利益合計	△98,067	54,347
四半期包括利益	357,690	1,252,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	357,690	1,252,053

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,669,634	1,258,207	5,927,842
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,770	5,190	7,960
計	4,672,405	1,263,397	5,935,802
セグメント利益	1,016,635	285,340	1,301,975

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,301,975
セグメント間取引消去	19,296
全社費用(注)	△682,030
四半期連結損益計算書の営業利益	639,240

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,488,593	1,450,194	8,938,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,729	15,849	20,579
計	7,493,323	1,466,043	8,959,367
セグメント利益	1,898,898	345,021	2,243,920

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,243,920
セグメント間取引消去	1,825
全社費用(注)	△766,047
四半期連結損益計算書の営業利益	1,479,698

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足説明

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	2,481,273	157.7
光学装置	3,390,173	325.2
電子部品装置	1,617,147	78.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	7,488,593	160.4
サービス事業		
部品販売	761,222	107.3
修理・その他	689,881	125.8
サービス事業計	1,451,104	115.3
合計	8,939,698	150.8

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	2,668,938	123.8	1,784,040	127.9
光学装置	2,307,591	118.2	1,928,227	113.7
電子部品装置	1,829,852	108.7	1,292,025	96.0
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	6,806,382	117.5	5,004,293	112.8
サービス事業				
部品販売	760,312	107.1	—	—
修理・その他	689,881	125.8	—	—
サービス事業計	1,450,194	115.3	—	—
合計	8,256,576	117.1	5,004,293	112.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	2,481,273	157.7
光学装置	3,390,173	325.2
電子部品装置	1,617,147	78.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	7,488,593	160.4
サービス事業		
部品販売	760,312	107.1
修理・その他	689,881	125.8
サービス事業計	1,450,194	115.3
合計	8,938,788	150.8

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。